

在校生・卒業生・保護者・教職員

# 進路通信2016/12 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

## ★特集 「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」で問われるもの～英語編～

前回の数学編はいかがでしたでしょうか？さて、今回は英語です。三坂先生を中心とした英語科教員にまとめていただきました。いきなりの東大入試からスタートしますが、そのあとは湖陵での定期考査の内容。湖陵でも「思考力・判断力・表現力」を既に問われているということです。さて、クラスメイトや先生方とも混じって楽しみながら学んで下さい。

「思考力・判断力・表現力」が問われるようになってきている大学入試で、英語ではどのような動きが見られてきているのかを紹介します。

**問：下の絵に描かれた状況を簡単に説明した上で、それについてあなたが思ったことを述べよ。全体で 60～80 語の英語で答えること。**



(2015)

**問：下の画像について、あなたが思うことを述べよ。全体で 60～80 語の英語で答えること。**



(2016)

上の2問は、東京大学の入試で出題された自由英作文の問題です。これまでも、自由英作文は解釈によって内容に幅がでるような、自由度の高い内容でした。2015年の問題は、「女性が、鏡の中で自分とそっくりな顔がウインクしてきたのを見て、驚いて声を上げてしまった。」というような状況の説明をします。その後、「あり得ないことだと思う」「疲れていて、幻覚を見たのではないか」など、自分の思うことを述べる、といった流れです。ある程度の枠の中で自由に解釈し、内容についてわかりやすく説明する力や、正確な英語で豊かに表現する力が求められています。自分の使える単語やフレーズを用いて、いかにミスなく文章を書けるのが大切です。

### <試される想像力、柔軟性、臨機応変さ>

さて、2016年度問題をみてみましょう。与えられた画像に一瞬、戸惑いませんか？これは一体、どんな状況なのでしょう？この画像について思うことを述べるとなると、作文の内容は人によって全く違ってきそうですね。2015年度の問題より更に、内容が書き手にゆだねられた問題といえます。英語力だけではなく、想像力や考える力も必要とされてきます。また、突然与えられた予想外の問題に素早く対応できるかどうかをみることもできる問題です。

### <私に関係ない…なんてこともない>

「自分、別に東大受けないので…」と思っているあなた！関係なくはありません。東京大学の動きを追う大学は少なくありません。似たような問題に出くわす可能性は十分あります。本校でも、そんな思考力が必要とされる問題に対応できるよう意識して取り組まれています。例として、2学年の英語表現の定期試験問題を掲載します。どんな文章をつくり上げますか？

6 下の写真について、与えられた書き出しに続けて、50語以上の英語で自由に述べなさい。設定も自由とする。ただし、以下の2点を必ず含めること。(15)

- ・何をしているのか（されているのか）
- ・今後どうするのか



(書き出し) After the test was over, the student was called by his teacher.

① 書くことを決める。(アイデアを膨らませる)

※①と②の段階は日本語でOKです。

まずは指定された2点について、自分は何を書くか決めましょう。

## ②肉付けをする！（主張→展開→発展の形だと、展開の部分）

今回は、登場人物の心情や背景、理由などを加えていきます。2人のやりとりを書いてみても良いですね。


思考力が試される問題では①②の段階でどれだけ想像力、発想力を発揮できるかが大切です。ここまでは、キーワードのみを簡条書きするなどして、書きたいことを簡単にまとめます。スピード勝負です。

## ③英文に変換する。

①と②で考えた内容を英語に直していきます。自分が安心して使える文型や構文、単語を選んで表現していきましょう。


## ④文と文をつなげる。

あとは、適切な接続詞やフレーズを使って、文をつなげていきます。受験本番を控えた3年生だけでなく、1・2年生もGTECに向けて英作文のポイントを確認しました。学んだことを使ってどんどん練習していきましょう。実際に使うことが大切です。下の解答欄を利用して、英文を完成させましょう。

### <採点基準>

- ①文法（1～5点）：文型、品詞、時制などの適切さ
- ②語句（1～5点）：誤字？脱字の有無
- ③内容（1～5点）：文章としての構成？流れの適切さ、分量

### <注>

- ※50語までは解答用紙の**1マスにつき1語**を書くこと。50語以降は自由に書いてよい。
- ※マスは多少はみ出しても良い。丁寧に書くこと。
- ※**ピリオド(“.”)・コンマ(“,”)等は、1語には含めない**。マスの中に書くこと。
- ※**文と文の間はマスを空けない**こと。(文末には、ピリオドを必ず打つこと)
- ※**改行**をしないこと。続けて書くこと。

After the test was over, the student was called by his teacher.

									10
									20
									30
									40
									50

多少文法の間違ひはありますが、すばらしい解答があったので掲載します。皆さんが書いた英作文と、似たような内容になっているでしょうか？

After the test was over, the student was called by his teacher.

He	was	scolded	by	her	because	he	hadn't	written	his	10
name.	It	was	not	first	time	for	him.	He	always	20
forgets	to	write	his	name	when	he	takes	tests.	In	30
fact,	he	have	never	forgoten	that	he	must	write	his	40
name.	But	he	doesn't.	Why?	I	is	because	he	loves	50
his	teacher.	He	wanted	to	be	with	her	even	though	

he made her angry. He is a stupid boy. What he should do is not what he is doing. *Good!*

After the test was over, the student was called by his teacher.

The	student	was	scolded	by	his	teacher.	Because	the	student	
had	not	studied	for	the	test.	So	the	score	of	20
the	student	was	very	bad.	The	student	found	it	important	
to	study	for	the	test.	Therefore	the	student	decided	to	40
study	for	more	than	ten	hours	every	day.	The	student	
has	been	studying	for	the	next	test.	I	hope	the	

student get a good score for the next test. *Good!*

この2人は、「怒られている」という状況は同じですが、その後の内容には全く違った個性が出ています。思考力が求められてくる試験に対応するために、こういった問題を解く際には自分の想像力、発想力をできる限り広げる練習ができるとう良いですね。そして、自分の中で広がったアイデアを形にするためには、語彙や正しい文法、構文を身につけていなければなりません。1つでも多く、自分が実際に使える表現を増やしていけるよう、普段の単語小テストや、授業を大切にコツコツがんばりましょう。授業でやったことは授業内に覚える！今日分からないことは今日解決する！Time flies！先延ばしにしないことが大切です。